

公認山岳コーチ1  
資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	
養成目的		地域山岳会において、主に中高年登山者及び少年少女に安全な登山が指導出来る指導者を養成する。	
役割		市区町村の山岳団体を主な活動拠点とし、雪山や、岩登り目的を除くアウトドアライフの普及に努める。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満20歳以上で都道府県山岳連盟(協会)に所属し、同連盟(協会)が認める者。	
	受講科目	共通科目	共通科目 I (45h)
		専門科目	山岳コーチ1専門科目(30h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目 I :19800円(税込)※別途リファレンスブック代:1500円(税抜)
		専門科目	競技団体によって別途定める
		スタートコーチ	円( )
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<p>■講習会 カリキュラム(30時間)に基づき、都道府県山岳連盟(協会)を主管として集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画については都道府県連盟(協会)と都道府県体育協会で相談の上、JSPOとJMSCAの承認を得て実施する。</p> <p>■検定試験 JMSCA指導委員会が作成したものを参考に各都道府県の実情に合わせ作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。</p> <p>■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JMSCA指導委員会では審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。</p> <p>■免除要件</p>	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円	
		資格別登録料: 円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円	
更新登録要件	資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、JMSCAが定める研修会またはJSPO(都道府県体育協会が実施する(認める)研修を含む)が実施する研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認山岳コーチ1

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	登山計画,生活技術,自然保護(登山計画書,生活技術など)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	登山医療(健康管理・救急法)	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	③	遭難対策(危険の回避,事故発生時の対応,セルフレスキュー)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	山の気象学(気象現象のの基本・天気図・気象の情報入手法)	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑤	ナビゲーション技術(航法(徒歩ナビ、地図読み))	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑥	指導者制度、法律(指導者制度、法律:リーダーの法的責任)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計			6.00 h	3.00 h
② 実技・指導実習	①	無雪期の歩行(出発準備、歩き方)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	②	無雪期の生活技術(幕営、テント内生活の注意点、炊飯の注意点など)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	③	悪場の通過技術(ロープの結び方、フィックスロープの設置・通過など)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	④	無雪期の遭難対策(セルフレスキュー、不時露営の留意点、伝令書など)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑤	ナビゲーション技術(器具、航法、徒歩ナビ、地図読み)	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑥	積雪期の歩行(積雪期用具、アイゼン無し歩行、アイゼン歩行、ピッケル保持歩行等)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑦	雪上技術(滑落停止、耐風姿勢等)	3.00 h	0.00 h	3.00 h
小 計			20.00 h	1.00 h	21.00 h
			26.00 h	4.00 h	30.00 h